

スポーツ報知

第20回ふくやカップ争奪野球振興大会

八幡南タイブレーク制しベスト4

厚い投手層に手応え

八幡南は準々決勝の京築戦で10-9と接戦を制して4強入りした。3-7の6回に「外角の真っすぐを狙い打ちできた」という本間太期の3点三塁打などで同点に追いついた。時間切れによりタイブレーク(1死満塁)となった7回表に柴田翔大の適時打などで3点を入れた。7回裏は失策もあり1点差に詰め寄せられたが、2番手の柴田翔大が踏ん張った。

準決勝は優勝した飯塚と互角の勝負を展開。柴田翔大と内木場陽也が2点に抑え、最

終回は折立遥紀の内野安打などでつなぎ、1点差に詰め寄せた。

古賀哲也監督代行は「投手がよく投げたし、いい経験になった。全国8強の時(現高校1年)よりも投手層は厚い」と手応え十分の様子だった。



攻守で活躍した八幡南・本間

▼2回戦

八幡南 8-0 福岡志免

▼中学生の部3回戦

八幡南 10-1 40000
西田川 0001000016

【八】柿原、内木場—本間【西】
森元、宮崎—渕野▽本塁打—柴田
翔(八)▽三塁打—柴田翔(八)
松原(西)

▼同準々決勝

八幡南 2001043
京築 52000002910

【八】梶原、柴田翔—本間【京】
竹内、黒木—松田▽三塁打—古賀、
本間(八)細川、松田(京)▽二
塁打—折立、古賀(八)

▼同準決勝

八幡南 0000001
飯塚 110000X21

【八】柴田翔、内木場—本間【飯】
森永、猿渡、加納—城野▽二塁打
—山中(八)中島(飯)